

石炭および可燃性物質用インテリジェント統合型硫黄分析装置（自動電量滴定方式）

商品番号: KT-TE13



前書き

自動電量滴定、高精度炭化ケイ素加熱、迅速な終点判定機能を備えたインテリジェント統合型硫黄分析装置です。世界中の石炭、コークス、石油化学研究所向けに、規格準拠の全硫黄試験を提供します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
石炭火力発電	入荷した一般炭、微粉炭ブレンド、ボイラー燃焼用原料の硫黄仕様を確認するための日常的な検証。	ボイラー管の腐食防止、排煙脱硫（FGD）試薬消費の最適化、厳格な二酸化硫黄排出規制への準拠を保証。
商業用石炭洗浄および採掘	鉱山現場のラボトレーラーにおける、原炭、洗浄後の精炭、尾鉱、石炭脈石の迅速なスクリーニング。	リアルタイムで再現性の高い乾量基準硫黄数値により、商業等級の分類と支払決済の紛争を迅速化。
冶金用コークスおよび製鉄	高炉用冶金コークス、ニードルコークス、石油コークス添加剤、微粉炭吹き込み（PCI）グレードの品質保証。	高炉耐火ライニングの完全性を保護し、熔融鉄鉄や高級合金鋼への有害な硫黄移行を防止。
化学および石油化学精製	石油コークス副産物、重質炭化水素残留物、触媒、合成炭素材料中の全硫黄の定量。	信頼性の高い元素追跡により、下流工程での触媒被毒を防止し、商業的副産物の市場性を確保。
環境および商業試験ラボ	混合固形可燃物、固形燃料（RDF）、標準分析校正用チェックサンプルの高スループットな商業検査。	3～9分の自動処理とGB/T 214-2007に準拠した自動乾量基準レポートにより、試験コストを大幅に削減。
工業用セメントクリンカー製造	高温ロータリーキルンで使用される高硫黄代替燃料、廃タイヤ、原料石灰石キルンフィードの分析。	過度な硫黄とアルカリの不均衡を回避し、不要なキルンリングの形成を防ぎ、クリンカーの焼成性を安定維持。

技術パラメータ	仕様 / メトリック値 (KT-TE13)
製品番号	KT-TE13
測定原理	高温燃焼電量滴定法
適用規格	GB/T 214-2007 (石炭の全硫黄測定)
硫黄測定範囲	0.00001% ～ 99.99% (0 - 99.99%)
測定分解能	0.00001 (1/100,000 / 0.001%)
試料燃焼分析時間	1測定あたり3～9分 (インテリジェント自動終点復帰)
炉動作温度	1150°C ± 5°C (ターゲット熱プロファイルに合わせて調整可能)
温度測定精度	0.5級 (フルスケール ±0.5%)
発熱体タイプ	高品質炭化ケイ素 (SiC) 管

技術パラメータ	仕様 / メトリック値 (KT-TE13)
高温定温ゾーン長	≥ 90 mm
昇温速度	25°C~30°C/分 (約35分で1200°Cに到達)
安定動作状態までの熱ウォームアップ	電源投入後1分以内 (動作温度到達時)
電解セル容量	450 mL
電極構造	高純度白金 (Pt) 金属電極
キャリアガス流量	1000 mL/min
インターフェースおよびディスプレイ	専用パラメータキーボード付き統合LCDディスプレイ
データ保存容量	直近30件の履歴記録を保持する電源オフメモリ
計算機能	手動水分入力に基づく自動乾量基準全硫黄換算
レポート出力	パラメータおよび結果の自動出力用感熱式マイクロプリンター内蔵
電源	220V ± 20%, 50 Hz
システム総消費電力	≤ 2.2 kW